

地域のもりから学ぶ森林づくり2012

「森林の生物多様性を学ぶ」 第三回森林教室



もりの移り変わりを 知ろう

第3回森林教室は、7月12日(木)に定山溪国有林2115林班の「森づくり活動地(図参照)」で行いました。この「森づくり活動地」は2年前に森林教室を実施した時に土壌を作るミミズを放し、その繁殖状態を観察したり、ヤナギの挿し木などを植栽し経過を観察することを目的に設定しました。今回は2年経過したので、その状況を実際に観察することを目的に開催しました。また、体験林業として周囲のアカエゾマツ人工林での枝打ちを予定しました。



この活動地を設定するにあたってご指導いただいた北大大学院「春木雅寛先生」に講師をお願いしました。本来であればゆっくりと「ミミズ」の様子や植生・周囲の天然林など自然の環境の様子を実際に見ながらの、おはなしを聞く予定でしたが、当日はあいにくの雨模様。傘の花が咲き乱れる中でのお話となりました。

今後の予定

- 札幌水源の森林づくり2012
9月1日(土) 10:00から
大通公園西8丁目広場
- 第4回森林教室
9月21日(金) 時間未定
定山溪地区で行います。

※詳しい内容はおって掲載します。ご参加をお待ちしています。



なお、体験林業としての「枝打ち」作業は残念ながら中止としました。日頃の精進のなさを反省し参加された中学生や先生、また一般の方々には雨の中、大変感謝申し上げます。次回は秋の晴天の中で森林教室を開催できるよう祈るばかりです。

